

創刊したぞー



「一羊会だより」で紹介しきれなかった話題を集めてお届けします。

大根、牛スジ、ロールキャベツ

題字と絵 森本 拓巳 / 写真と文 神田 浩平

廃材から生まれた『すずかけロボ』

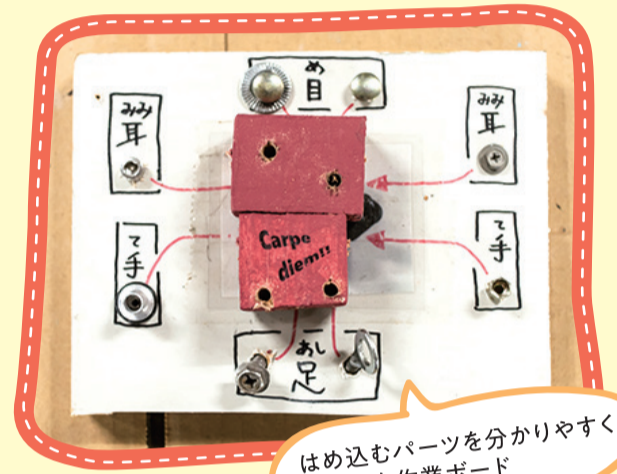


すずかけ労働センターで作られている新しい自主製品「すずかけロボ」を紹介します。2023年の春から販売イベントなどで売られているこの商品は、じわじわと人気上昇中です。

すずかけロボは全て廃材から作られています。腕や足、目などに使われている金属は全て使われなくなった自転車のパーツ。作業のひとつとしてリサイクル自転車の整備や販売を行っているすずかけ労働センターならではの自主製品です。

ロボの大きさは卓上の置物サイズ。パーツの形がそれぞれ違い、1体1体に個性があります。値段は1つ300円。上甲子園すずかけ作業所内の「Aptime cafe」でも販売しています。

新しい仕事を自分達で作ります



はめ込むパーツを分かりやすく配置した作業ボード

「はじめからロボットを作るつもりはなくて、なんとなく行きつきました」と大川さんは笑いながら話してくれました。工具は全て作業所に眠っていた物を活用しています。雨で外作業が出来ない日や、作業の隙間時間を上手く使い、廃棄されるはずだった資材にもう一度命を吹き込むロボット作り。真剣な表情ながらも時折、皆で冗談を言い合う和やかな空気の中、作業は進められていました。

切った木材をひとつひとつ丁寧に塗装します。



自転車のパーツを埋め込んでいくのは佐藤充さんの役割です。



木材の切断のサポートやヤスリがけを担当する藤本順士さん。



すずかけロボ作りのリーダー、職員の大川裕紀さんです。



『食』にまつわるイベントをご紹介します

すずかけ作業所のイベント給食

2023年12月から、月に1度のイベント給食がすずかけ作業所で始まりました。第1回目は揚げたての天ぷらを頂く『天ぷら実演』。衣を揚げる音と香ばしい匂いの中、実演する料理長さんには利用者さん達の熱いまなざしが向けられていました。天ぷらの具は、利用者さん達の自治会『指揮の会』で事前に皆さんで決めた食材でした。レンコン、シイタケ、コーンなどたくさんの野菜に、かきあげ、エビなど、山盛りの天ぷらを食べ、皆さん大満足な様子でした。

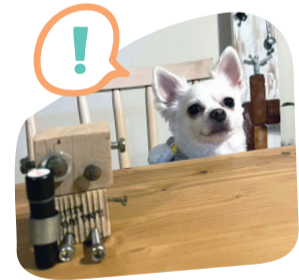


法人職員向けイベント『おでんや 葉月』

2023年11月にあとりえずずかけで法人職員向けの懇親会が行われました。この日はあとりえずずかけが一晩限りの「おでん屋」になり、法人職員や関係者が続々とご来店。店の暖簾やお品書きを書いて、お店の雰囲気演出してくれたメンバーの仁田さんも、お母さんとおでんを食べにきてくれました。



我が家のすずかけロボ



ジョイント・増田課長宅のすずかけロボは、玄関で印鑑を持ち、宅配業者さんが来るのをじっと待っています。愛犬のMilkちゃん(6才)とも仲良し…?



相談支援こんぼすの加藤さん宅では、2体のすずかけロボと亀仙人が玄関で家族をお見送りとお出迎え。3体の頭を撫でると幸運が宿するというおまじないも!